

演題：国際規格対応 機械安全設計のポイント(基礎編)
機械・電気及び機能安全

協賛：安全工学会，安全工学研究所，エンジニアリング協会，化学工学会，軟包装衛生協議会，日本機械工業連合会，日本鍛圧機械工業会，日本金属プレス工業協会，日本高圧力技術協会，日本工作機械工業会，日本食品機械工業会，日本信頼性学会，日本製パン製菓機械工業会，日本非破壊検査協会，日本プラントメンテナンス協会，日本包装技術協会，農業食料工学会，腐食防食学会

開催日：2019年6月26日(水曜日)10:00~17:00

会場：品川区中小企業センター 大会議室 〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目28-3

聴講料：会員及び共催、協賛団体会員 5,000円(学生員 2,000円) 会員外 8,000円(一般学生 3,000円)

参加者：40名(会員 10名、共催・協賛団体会員：14名、会員外：16名、学生：0名)

主旨：当講習会では、国際標準を用いた評価実務の第一人者が、機械の安全設計を行う際に問題となる点を、事例を交えて解説する。

演題詳細：

司会： テュフブードジャパン株式会社 IMグループ 機能安全部 淺井 由尚		
1. 機械安全の導入(基礎) 機械編+実例紹介		
午前開演		10:00 ~ 10:05
1) 導入+機械安全講習 Part1	欧州機械指令の概要と、機械装置の適合性評価の進め方とポイントをご説明いたします。(機械編) 午後の講習「リスクアセスメントのワークショップ」の導入編。+最新情報 製品安全における機能安全評価のご紹介	10:05~10:55 テュフブードジャパン 大津 まさひこ+丸山 響
2) 導入時の実際の経験、事例	機械安全の国際規格対応を考えて行く上で、新人や新担当者が直面する様々な問題点を話す。事例は、様々な企業からサンプリングした事例を紹介する。	10:55~11:45 東レエンジニアリング 谷口 満彦
ランチタイム(11:45~13:00)		
2. 機械エンジニアのためのリスクアセスメント(初級)+電気・EMC編)		
午後開演		13:00 ~ 13:05
1) 機械設計のためのリスクアセスメント(RA)ワークショップ	欧州機械指令対応を始めるときに重要なツールであるリスクアセスメントについて、その概要と導入について解説する。ワークショップ形式を想定。	13:05 ~ 14:00 富士電機 戸枝 毅
2) 機械安全講習 Part2	機械指令と低電圧指令の関係を説明し、機械の電気設備を安全に構築するためのポイントを、整合規格であるIEC/EN 60204-1をもとに紹介する。(電気編)	14:00~14:50 テュフラインランド 井土 伸彦
休憩		14:50 ~ 15:00
3) 機械安全講習 Part3	1. EMC指令の要点と重要規格、試験の概要 2. EMC対策のポイント	15:00~15:50 SGS 根本 拓哉
4) 機械安全講習	北米市場製品開発時に考慮すべきこと	15:50~16:40

Part4	UL ジャパン 吉村 俊輔
質疑応答及びディスカッション	
16:40 ~ 17:00	

アンケート結果：

回収：31名

評価：

	満足		普通		不満	平均
	5	4	3	2	1	
講演全体	6	16	7	0	0	3.97
講演 1	3	18	6	2	0	3.76
講演 2	4	17	8	0	0	3.86
講演 3	7	19	2	1	0	4.10
講演 4	8	18	3	0	0	4.17
講演 5	5	13	10	1	0	3.76
講演 6	5	16	8	0	0	3.90
講演 7	3	10	11	4	1	3.34

コメント

良かった点

- ・ 認証機関、メーカーから貴重な情報を聞くことができた。
- ・ 全体的に密度が高く非常に勉強になった。
- ・ リスクアセスメントのフォーマットを使っでの演習はとても有意義でした。これをもとにRAを進めてまいります。
- ・ 欧州指令の全体像が頭の中で整理できました。EMCの復習ができた。
- ・ 実践的でわかりやすかった。
- ・ 話し方のテンポが良く眠い時間にもかかわらず何とかなった。

改善すべき点

- ・ 聞き取りにくい部分があった。
- ・ 話が止まるときがあり残念。でも分かりやすかった。
- ・ 業務上での実際ありそうな悩みが参考になりました。具体的な事例もあると良かったです。
- ・ 資料の字が小さい
- ・ ユーザーとしての苦勞や実例をできる限りの範囲で聞きたかった。
- ・ 死んだという表現はよくない。亡くなったとしてください

写真：

